

道営工業用水道

工業用水道需要開拓の推進



北海道

その先の、道へ。北海道

Hokkaido.Expanding Horizons.

令和6年3月
北海道企業局



道営工業用水道事業における工業用水需要開拓の位置付けと展開

○ 北海道企業局経営戦略（令和2年度～令和11年度）

- ・ 工業用水の安定的な供給を継続していくため、経営基盤強化の一環として需要開拓を位置付けて推進

○ 道営工業用水需要開拓推進の枠組

(1) 企業に対する営業活動

- ・ 新規受水や増量の可能性がある企業に対して情報提供を行い工業用水活用を提案

(2) 企業に向けた広報・PR

- ・ 関連する産業分野に向けて幅広く情報を発信して広報・PRを実施

(3) 一般道民等に向けた広報・PR

- ・ 広く一般道民に向けて広報・PRを行い工業用水道事業への理解を促進

(4) 関係機関等との連携


- ・ 工業用水道事業・企業立地等に関係する情報を共有し、取組の連携を図る

○ 企業に対する営業活動


	令和5年度(2023年度)実施状況	令和6年度(2024年度)実施計画(案)
(1) 企業に対する営業活動		
① 企業向けイベントの活用	<ul style="list-style-type: none"> 北海道企業立地セミナーへの参加 令和5年10月に東京で開催された北海道企業立地セミナー(道経済部主催)に参加し、工業用水道のPRを行うとともに、アンケートを基に、道内への立地に興味を示した企業に対し、工業用水道に係る情報を提供し、ニーズの把握に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道企業立地セミナー(令和6年度)への参加 
② 継続的なフォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> 石狩湾新港地域に進出を計画しているバイオマス発電事業者、データセンター事業者との間で、工業用水道の使用に係る諸条件を確認、工業用水道水のサンプルを提供した。 ↳ バイオマス発電事業者については、工業用水を使用するとして、令和5年11月に建設工事に着手 石狩湾新港地域及び苫小牧東地区に進出を計画しているバイオマス発電事業者について、道経済部を交えて、動向などを確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業の検討状況を把握し、継続的なフォローに努める。 道経済部等から入手した企業動向に基づき、当該企業に対して工業用水道に係る情報提供を行い、ニーズの把握に努める。 

令和5年度実施状況・令和6年度実施計画 ②

○ 企業及び一般道民に向けた広報・PR

	令和5年度実施状況	令和6年度実施計画(案)
(3)企業に向けたPR (4)一般道民に向けたPR		
① Webページ SNS、メルマガの活用 (企業向け・一般道民向け)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Facebook「北海道企業局・工業用水道広報ページ」の投稿(月3~4回) ・ メールマガジン「ドゥ・ウォーター通信」の配信(隔月) ・ 水質検査結果の公表(3ヶ月ごと) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道メールマガジン配信システムの廃止(令和5年度末)に伴い、「ドゥ・ウォーター通信」の配信を中止
② 広報誌「工水だより」の発行 (企業向け、一般道民向け)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受水企業の紹介、施設の概要、水質検査結果等工業用水道に係る情報発信。 (年2回発行し、ユーザー企業、関係機関のほかフォロー中の企業、建設事業者等へ送付。PRイベント来場者へ配布) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、広報誌を発行、イベントへ参画し、PRに努める。
③ イベントへの参画 (一般道民向け)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道企業展でのパネル展示 ・ 登別夏まつりへの出展 (ブースを開設し、大雨時の幌別ダム放水に関する意識啓発のほか工業用水道事業についてPR) 	
④ ダムカード、工水カードの配布拡大 (一般道民向け)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登別観光案内所でダムカードの配布を開始(令和5年6月) ・ 石狩市内で開催されたイベントで石狩工水カードを配布(令和5年8、9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元開催イベントとの連動などにより、PR効果増大を図る取組強化に努める。

○ 関係機関等との連携

	令和5年度(2023年度)実施状況	令和6年度(2024年度)実施計画(案)
(1) 関係機関等との連携		
① 会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> 工業用水需要開拓促進連絡会議 石狩市、小樽市が新たに加わり、令和5年8月に開催した。 各地区(地域)意見交換会 令和6年2月に3工水それぞれで開催。受水企業計79社中30社が参加した。 工業用水道事業経営懇談会 令和6年3月に開催。 	<ul style="list-style-type: none"> 工業用水需要開拓促進連絡会議の開催 各地区(地域)意見交換会の開催  <ul style="list-style-type: none"> 工業用水道事業経営懇談会の開催
② 情報交換等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 道経済部との連携を強化し、企業進出に係る情報の共有を図った。 企業進出及び事業転換に伴う工業用水道の需要に関し、室蘭、苫小牧、石狩、小樽各市の企業誘致担当部署、及び石狩開発(株)、(株)苫東、(公財)室蘭テクノセンター、(公財)道央産業振興財団との間で情報交換を行い、情報収集に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 道経済部との連携を強化し、情報の共有を図る。 地元自治体、用地開発企業((株)苫東、石狩開発(株))、産業振興団体((公財)室蘭テクノセンター、(公財)道央産業振興財団)との間で情報交換を行い、情報収集を図る。

令和6年度の営業活動における重点分野の設定

○ 近年の社会変革・企業立地の動向を踏まえた重点分野の設定(案)

- 重点分野①:再生可能エネルギー・水素エネルギー等脱炭素技術の活用に取り組む企業
- 重点分野②:サプライチェーンの再編・強化への対応を図る企業

《参考》「北海道企業立地ガイドブック」が掲げる立地環境の優位性

リスク分散の 適地

- 低い首都圏等との同時被災リスク
- エネルギー供給
- 多重化された交通インフラ

環境に優しい 新エネルギー

- 全国トップレベルの再生可能エネルギーの宝庫
- クリーンエネルギーや冷涼な気候の利活用

優秀な人材・研 究機関の集積

- 良質で豊富な人材
- 進出企業を協力をサポートする試験研究機関

充実した生活 環境

- 開放的で個性的な地域社会
- 人と企業に快適な環境